



【学校教育目標】生きる力を備えた子どもの育成 ○たくましく ○やさしく ○かしこく ○うつくしく

本校の全国学力・学習状況調査の結果について

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月18日（火）に全国の小中学校において実施されました。本年度の全国学力・学習状況調査の調査内容は以下のような構成となっています。

①教科に関する問題

国語科・算数科ともに、従来の「主として『知識』に関する問題」と「主として『活用』に関する問題」に区分するといった整理を見直して、一体的に調査問題が構成されています。このため従来は「国語A・算数A」「国語B」「算数B」（45分×3コマ）というかたちで実施されていた調査も、今年度も「国語」「算数」というかたちで、それぞれ45分ずつ実施されました。

②質問紙調査（一人一台端末を使用し、4月13日にオンラインで実施）

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

この調査の目的は、児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導などに生かしていくことにあります。

7月末に文部科学省から本校児童の調査結果が送付されてきましたので、調査結果について分析を行ってまいりました。このたび、分析が終了いたしましたので、その概要を保護者の皆様にお知らせいたすこととなりました。（本校のHPにおいても同じ内容について公表をおこないます。）

〔分析結果の概要〕

I 本校の教科に関する問題の状況（全国・山梨県との比較）

本調査における結果については、山梨県教育委員会による分析にならない、全国平均正答率との差が±5%の範囲にある場合は、全国平均とほぼ同等であると考えております。



①本校の教科に関する問題の結果は、次のようになっています。

国語：全国とほぼ同等となっています。 算数：全国よりやや下回っています。

②問題別における各教科の課題

※問題別とは以下の観点において分類された問題形式になります。

| | |
|-----|--|
| 選択式 | 記号を選び解答するもの |
| 短答式 | 本文中からの抜き出しや書き換え、数値、数式などを単語や比較的短い文章によって解答するもの |
| 記述式 | 答えの求め方や考え方、解釈や評価などを文章で解答するもの |

・国語では、選択式及び記述式の正答率が、全国・県の正答率とほぼ同等となっていますが、短答式の問題は大きく上回る結果となっています。また、算数では、選択式・記述式・短答式の、どの問題形式においても、全国・県よりやや下回る結果となっています。

・国語、算数どちらにも共通の傾向としていえることですが、「図形や資料、文章などを読み解き、必要な情報を集め、それらを関連付けるとともに、そのことについて、自分の考えを文章にまとめ説明したり、文章化したりすることが不得意である」ことが読み取れます。



③学習指導要領の内容・領域にみる本校の各教科の課題

・国語では、知識・技能においては、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の「漢字を文の中で正しく使う」設問では、全国・県を大きく上回っているが、「送りがなに注意して漢字を文の中で正しく使う」「文章の種類とその特徴を理解する」趣旨の設問では、大きく下回っています。また、「情報の使い方に関する事項」の「原因と結果など情報と情報について理解する」趣旨の設問では、全国・県を大きく上回っているが、「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う」趣旨の

設問では、下回っています。思考力・判断力・表現力等においては、「話すこと・聞くこと」の「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」、また「読むこと」の「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」趣旨の設問で、全国や県を下回っています。

- 算数では、「数と計算」の「加法と乗法の混合した整数の計算や分配法則を用いた計算」、「変化と関係」の「百分率で表された割合の理解」については、全国・県を上回っています。しかし、「数と計算」の「一の位が0の二つの2位数の乗法の計算」「()を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付ける」「図を基に商の意味を考える」「以上の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る」趣旨の設問では、下回る結果となりました。「図形」における「正三角形の意味や性質を理解する」「面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて説明する」趣旨の設問においても、全国・県を下回っています。



④学力向上に関わる実践的な取組について

②③の結果から、学力向上のために次のことについて重点的に取り組んでいくこととします。

- 基礎的な学習の定着を徹底し、学習で身に付けたことを活かし、活用しながら問題を解決していく課題を設定する。
- 国語においては、漢字を日々の学習指導において繰り返し練習したり、書いた文章を読み返す中で、正しい使い方を習得できるよう、意識させるようにする。また、話し手の意図が伝わるように話の内容を文に要約したり、目的や意図に応じて、自分の考えを文にまとめたりする活動に取り組ませていく。
- 算数においては、数量の関係について、四則を混合させたり()を用いたりして一つの式に表すなど児童が考えた式を比べることを通して、数量の関係を表すことができる良さを分かるようにしていく。また、図形の意味や性質を基に、図形の構成について文や図や数を用いて説明する活動を通して理解を深めていく。



2 質問紙調査の主な特徴と改善に向けて

| 県や全国の結果より上回っていた質問 | 県や全国の結果より下回っていた質問 |
|---|--|
| 「毎日同じくらいの時間に起きていますか。」 | 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」 |
| 「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか」 | 「将来の夢や目標を持っていますか」 |
| 「先生は授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」 | 「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」 |
| 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」 | 「学校が休みの日に、1日当たりそれくらいの時間勉強をしていますか」 |
| 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」 | 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」 |
| 「学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか」 | 「算数・英語の学習は好きですか」 |
| 「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」 | 「将来、積極的に英語を使うような生活をしたいと思いますか」 |
| 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」 |   |

※上記の表は、特に顕著なものだけを抜粋しております。

今回の質問紙調査においては、まず、「早寝・早起き・朝ご飯」などの基本的な生活習慣を身に付け、よりよい生活リズムを作っていくことが、健康や学力向上にもつながってきます。また、学習習慣づくりに関しては、家庭に配付しております「家庭学習の手引き」に沿って、家庭と連携しながら、計画的に家庭での学習の習慣化ができるよう行っていきたいと考えています。中学校生活に向け、自分でしっかり計画を立てて学習に取り組むことについても、意識付けをしていきたいと考えています。

規範意識・自己有用感等については、規範意識も高く、「社会のために役立つ人になりたい」という思いをもつ児童も多いという一方で、自己有用感や将来の夢や目標をもてていない児童もいます。「自分のことが誰かのためになった」という体験を数多くさせる中で、自信をもたせるようにしていきたいと考えます。また「人のために」「友達と協力して」という意識を高くもっており、グローバル化が急速に進展する中、自分と考えや習慣の違う人々と交流する中でも、こうした意識で関わり合うことができるような力をつけていくことができればと考えます。ご家庭におかれましても、子供たちへの励まし声かけや学習環境を整えるなど、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校HP
(QRコード)

